

済生会小樽病院 公開・オプトアウト書式

①	申請番号	R-11
②	研究課題名	骨軟部腫瘍における画像的、遺伝学的、免疫組織学的手法を用いた再発・予後因子の同定
③	情報の利用目的及び利用方法 (他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	骨軟部腫瘍の治療成績を後方視的に検討することである。また画像的、遺伝学的、免疫組織学的手法を用いて再発・予後因子となりうるバイオマーカーを検索し、治療成績向上のために改善すべき点を明らかにすることである。対象症例の治療開始前、治療開始後に撮影された画像、生検あるいは広範切除時に採取された切除標本とパラフィン切片を利用する。
④	利用または提供する情報の項目	年齢、性別、腫瘍の部位と大きさ、手術の詳細情報（切除範囲、切除縁など）、術後合併症、腫瘍学的転帰、施行した化学療法・放射線療法など、症例調査票に記載される項目。
⑤	対象者及び対象期間	済生会小樽病院において、1990年1月1日から2020年4月30日までに病理組織学的に骨軟部腫瘍と診断された症例。
⑥	利用の範囲	研究者および研究代表者
⑦	資料・情報の管理について責任を有する者	済生会小樽病院 【診療部長 織田 崇】
⑧	問い合わせ先	済生会小樽病院 総務課 0134-25-4321

もし、研究や情報の提供に同意いただけない場合には、お手数ですが問い合わせ先までご連絡ください。
なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。